

# 2020年度 第3四半期決算

---

## イオン株式会社

2021年1月13日

お客さまに安心してご利用していただくために



Scan & Go  
Smart Shopping

ONLINE DELIVERY



コロナウイルス拡大防止のため

従業員休憩室

入室定員 27人

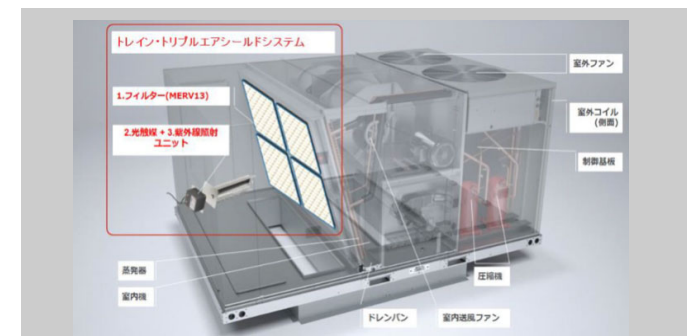
※入室人数制限させていただいております

マスクを着用しましょう

アルコール消毒をしましょう

人と人との距離を確保しましょう

換気しましょう



## 連結業績（3か月）



### 【第3四半期（3か月）として】…危機からのレジリエンス（復元力）を発揮

- ・増収増益 … 増収かつ全段階利益の増益は、前年度4Q以来、3四半期ぶり
- ・営業収益 … 前年度3Qを上回り過去最高を更新。11期連続増収
- ・営業利益 … 2010年度3Q（319億円）を上回り過去最高を更新

(億円)

	前期実績	当期実績	前期比・差
営業収益	20,967	<b>21,220</b>	<b>+1.2%</b>
営業利益	167	<b>342</b>	<b>+174</b>
経常利益	136	<b>310</b>	<b>+174</b>
親会社株主に帰属 する四半期純利益	-101	<b>-50</b>	<b>+51</b>

## セグメント別業績（3か月）



- ・GMS、SM、ヘルス&ウェルネス、総合金融の4事業が増益
- ・ディベロッパー、サービス・専門店、国際の3事業も黒字を確保

### 【セグメント別業績】

(億円)

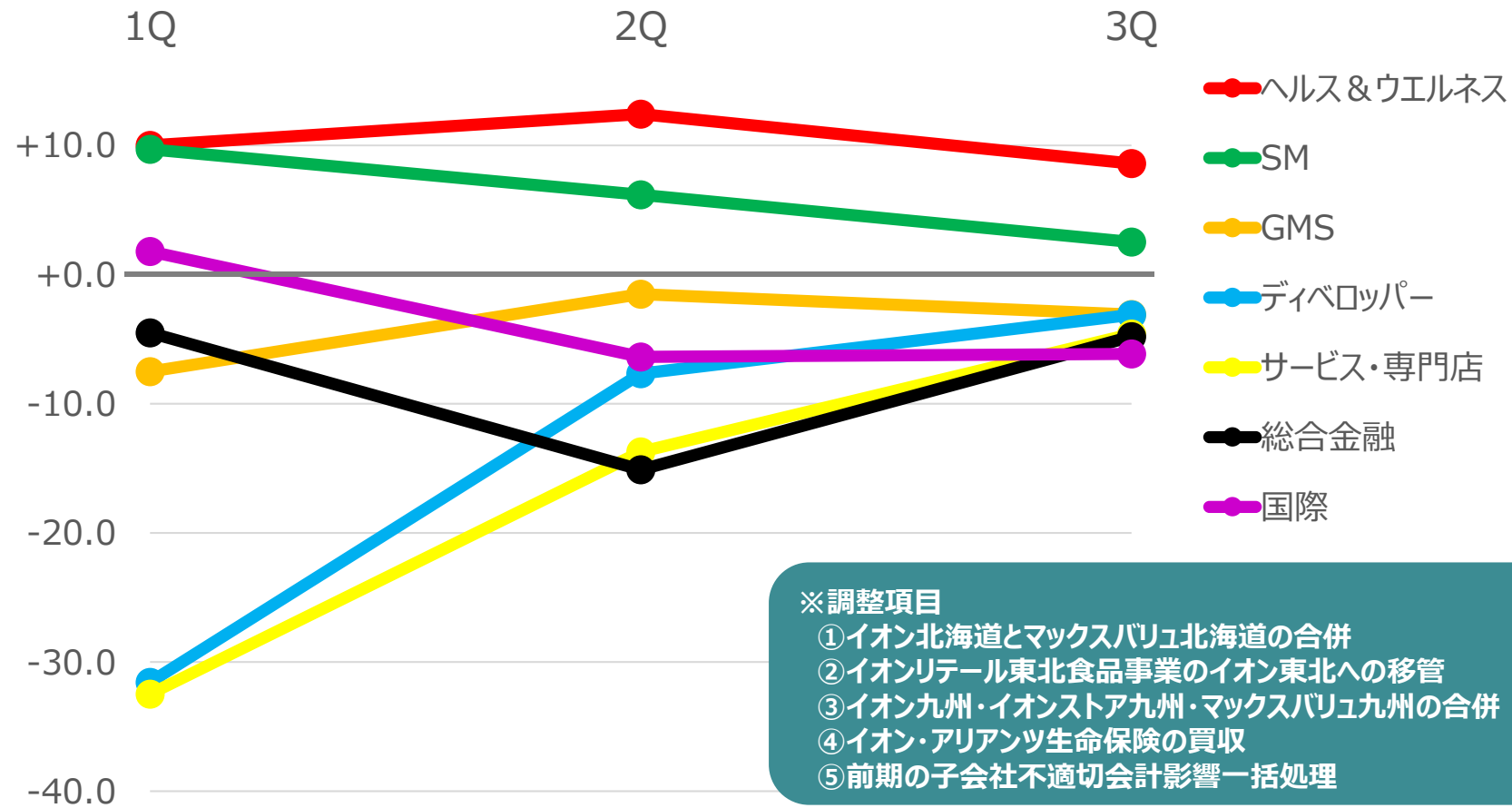
	営業収益	前期比(%)	営業利益	前期差
連結合計	21,220	+1.2	342	+174
GMS	7,764	+4.1	-71	+33
SM	7,620	-4.6	40	+23
ヘルス&ウェルネス	2,349	+8.6	61	+7
総合金融	1,307	+15.2	174	+119
ディベロッパー	884	-3.1	110	-24
サービス・専門店	1,703	-4.6	0	-5
国際	978	-6.1	10	-6

# セグメント別業績（営業収益）



・コロナ影響を受けた事業が回復する間、ヘルス&ウエルネス、SMが支える

【セグメント別営業収益 事業再編等の影響調整※後の前期比推移】 (%)



※調整項目  
 ① イオン北海道とマックスバリュ北海道の合併  
 ② イオンリテール東北食品事業のイオン東北への移管  
 ③ イオン九州・イオンストア九州・マックスバリュ九州の合併  
 ④ イオン・アリアンツ生命保険の買収  
 ⑤ 前期の子会社不適切会計影響一括処理

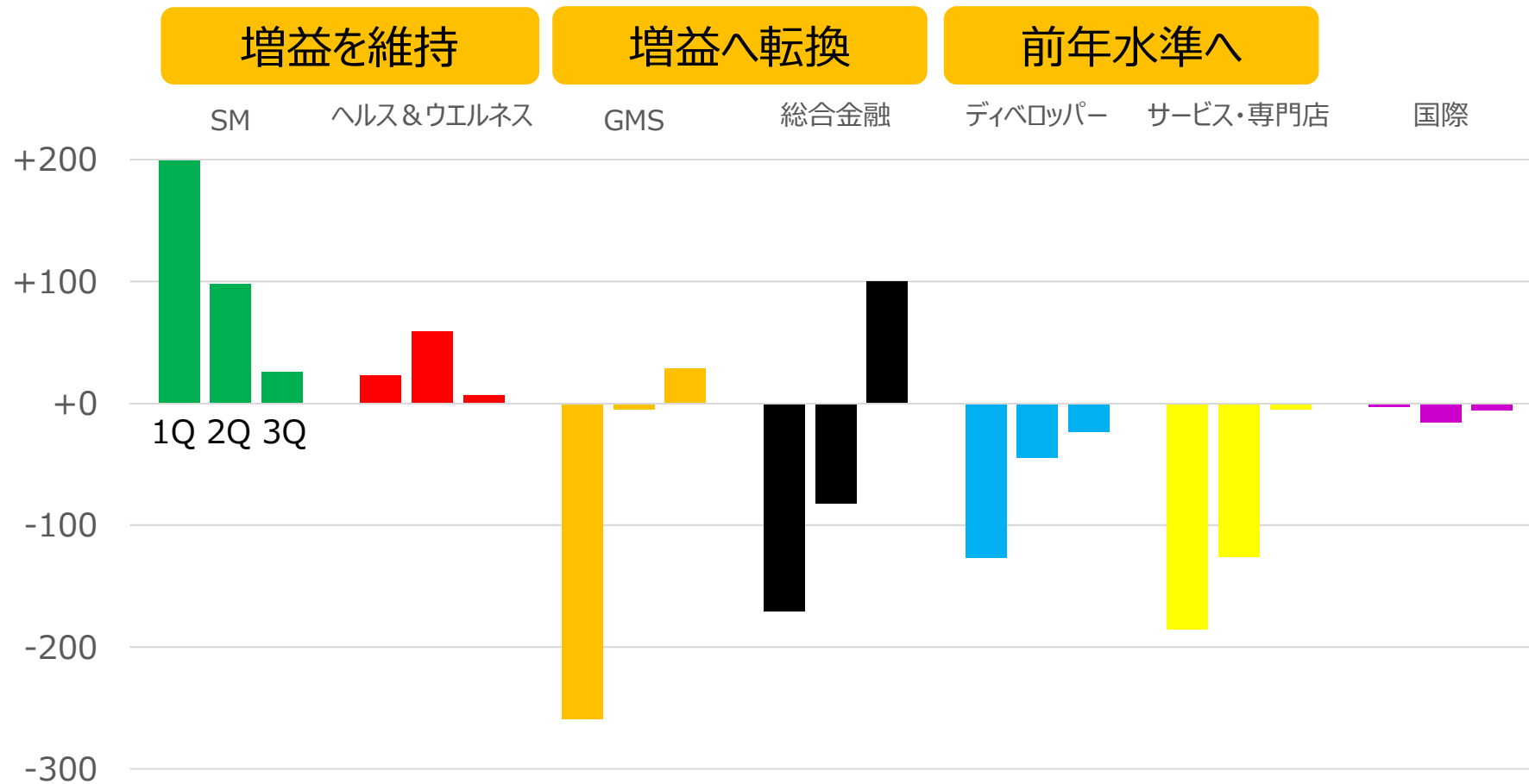
# セグメント別業績（営業利益）



・SMとヘルス&ウェルネスは増益を維持。GMSと総合金融が増益に転じる  
 ・ディベロッパー、サービス・専門店も大幅に改善し前期水準に近づく

【セグメント別営業利益 事業再編等の影響調整後の前期差推移】

(億円)

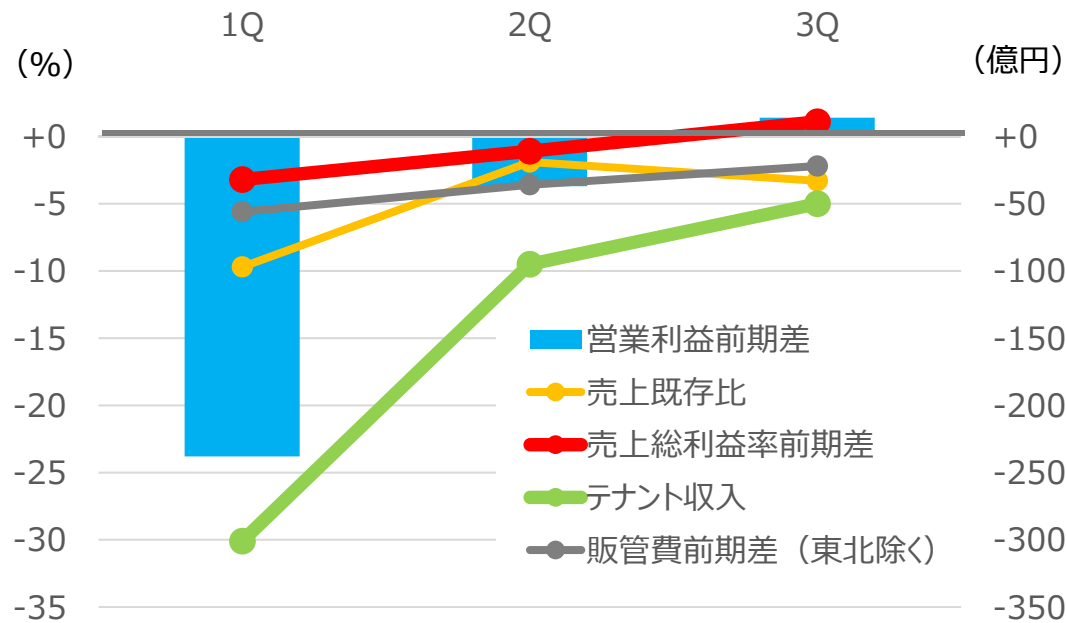


# GMS事業【イオンリテール】



- ・売上総利益率とテナント収入の改善、経費削減により3Qは損益改善に転じる
- ・在庫適正化の取組みも継続。新しい生活様式への対応も加速

## 【業績の概況】



## 【新しい生活様式への対応】

**ネットスーパー 197店舗\***  
 ⇒店舗受取りサービス  
 「ピックアップ」実施店舗も同数

**レジゴー 22店舗\* \*\***  
 ⇒2021年度はイオンリテールで  
 100店舗体制へ

**買い物かご除菌装置の導入**  
 ⇒9月～ 実証実験  
 ⇒11月～  
 12店舗へ導入



## 【在庫適正化の取組み】

	1Q末	2Q末	3Q末
在庫高 期首比	-10.9	-21.8	-13.2

## ・第3四半期は大幅増益

### 【総合金融事業の利益推移 ※】

(億円)

	第1四半期		第2四半期		第3四半期	
	実績	前期差	実績	前期差	実績	前期差
営業利益	-6	-171	93	-83	<b>174</b>	<b>+119</b>

### 主な3Q改善要因

- ・国内販売促進費の減（前年度：大型のキャッシュレス推進キャンペーンを実施）
- ・貸倒関連費用の減

### 【新しい生活様式への対応】 オンライン強化

お気軽でわかりやすい

**イオンの  
オンラインほけん相談**

パソコン・タブレット・スマホでオンライン相談！  
移動可能ゼロに自宅でもかんたんに相談だけでもOK!

**オンライン相談（保険）  
（8月～）**

来店のご予約も、  
オンライン相談のご予約も承っております！

店舗で優先的にご案内

スマホ・パソコンで簡単予約

スマホ・パソコンでご自宅からご相談

○ 保険・各種ローン など

**オンライン相談（銀行）  
（9月～）**

**おすすめ スマホで本人確認**

**最短翌日からご利用可能！**

申込完了後、スマホのカメラで本人確認書類と自分の写真を送信するだけで口座開設が可能です。  
インターネットバンキングの登録も同時に行えるので便利。

●必要な本人確認書類（1点）

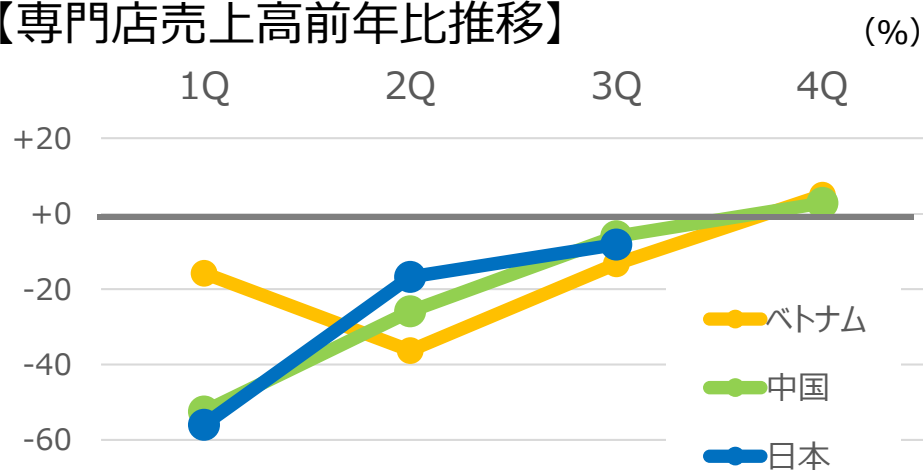
- ・運転免許証（運転経歴書は対象外です）
- ・個人番号カード（通知カードは対象外です）
- ・在留カード（特別永住者証明書は対象外です）

**オンライン本人確認  
（10月～）**



・専門店売上の改善と連動し、日本、中国にて損益改善。中国は増益に転じる

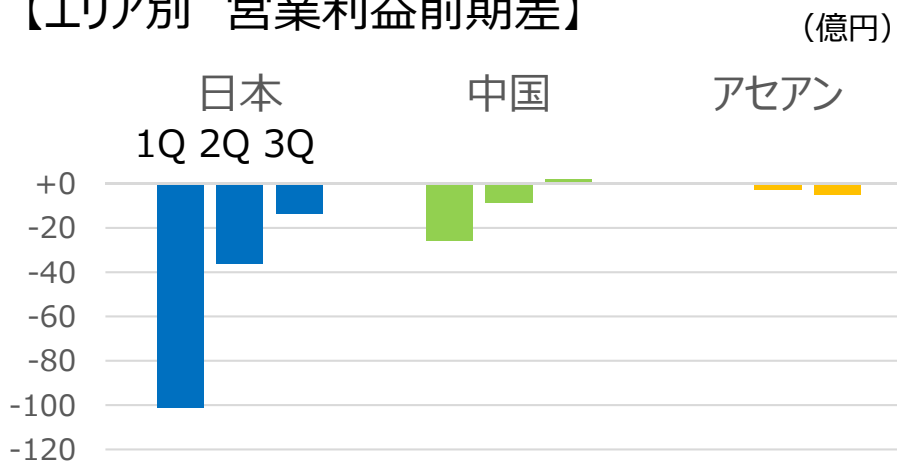
【専門店売上高前年比推移】



【国内 専門店売上業種別前期比】 (%)

	1Q	2Q	3Q
合計	-56.0	-16.8	-8.2
衣料品	-59.6	-11.8	-8.5
雑貨	-46.1	+0.3	+0.4
ホビー	-41.0	+0.3	+4.3
飲食	-64.7	-30.6	-14.4
アミューズメント	-67.5	-26.5	-2.5
<b>シネマ</b>	<b>-88.1</b>	<b>-70.0</b>	<b>+12.8</b>

【エリア別 営業利益前期差】



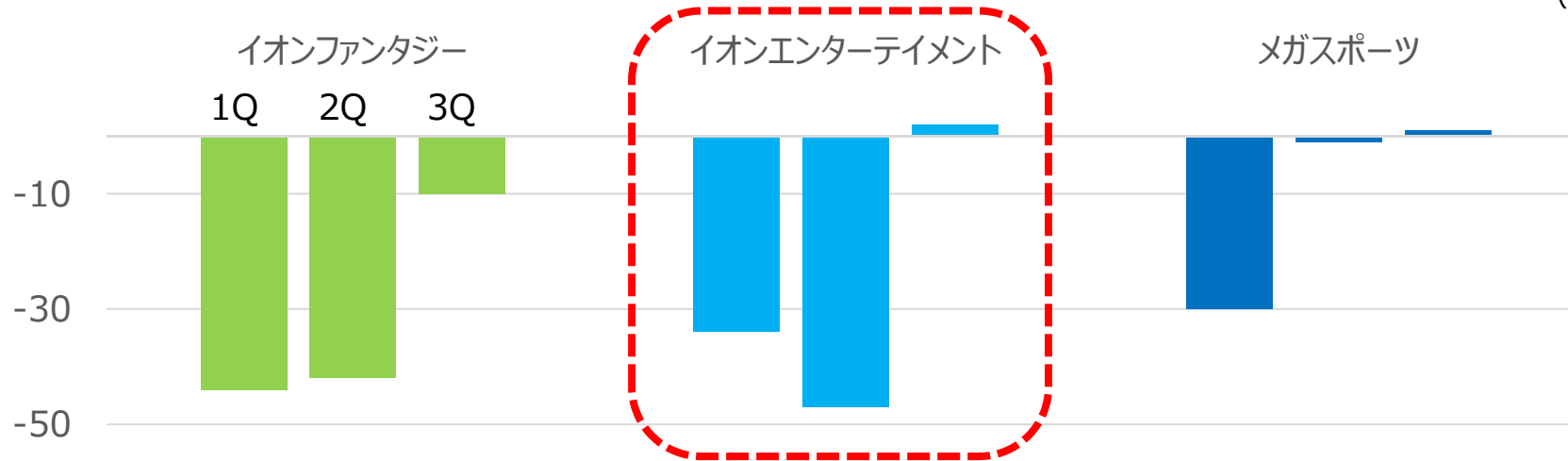
【新しい生活様式への対応】



・コロナ影響を受けた各社の業績が大きく回復

【主要各社の営業利益前期差 推移】

(億円)

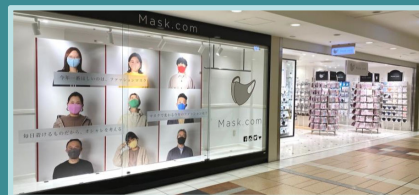


【新しい生活様式への対応】

コックス

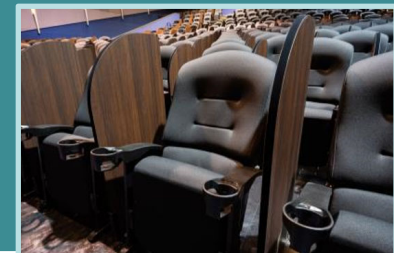
・EC売上：前年の2倍超（3～11月）  
⇒10月にサイトリニューアル

・マスクショップ  
⇒ 6店舗へ



イオンエンターテイメント

・国内映画館で初めて、全座席間に飛沫対策のパーティションを設置  
(イオンシネマ市川妙典)



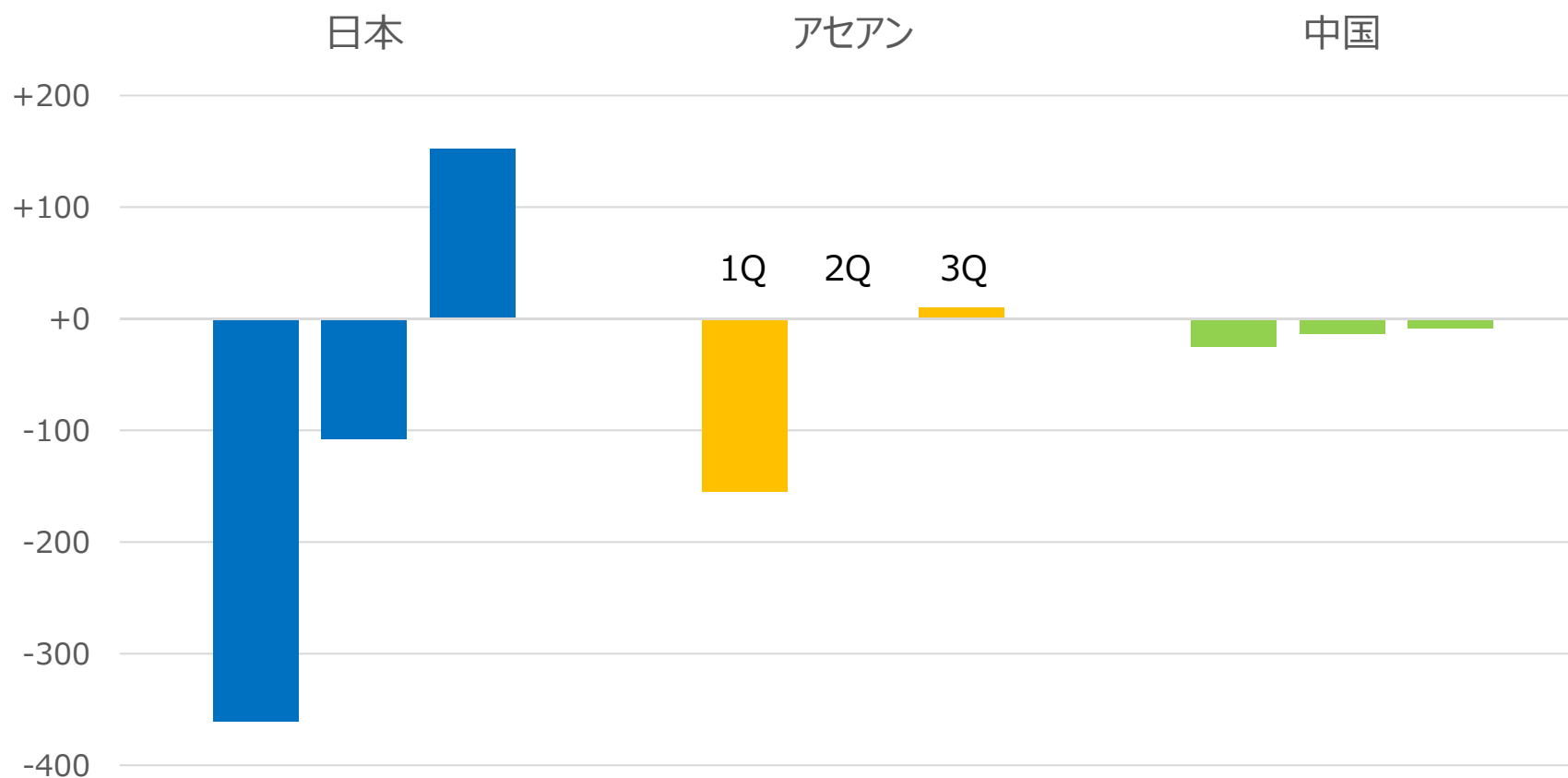
# エリア別業績（営業利益）



・国内業績が大幅増益に転じる。アセアン、中国も改善基調

【エリア別営業利益 前期差推移（調整後※）】

（億円）



## 連結業績（9か月累計）



- ・営業収益の累計値が増加に転じ、9か月累計で過去最高を更新
- ・各段階利益の減少幅が改善

(億円)

	前期実績	当期実績	前期比・差
営業収益	63,870	<b>63,925</b>	<b>+0.1%</b>
営業利益	1,030	<b>681</b>	<b>-349</b>
経常利益	933	<b>589</b>	<b>-343</b>
親会社株主に帰属 する四半期純利益	-63	<b>-625</b>	<b>-562</b>

## セグメント別業績（9か月累計）



コロナ禍においても7事業中5事業が黒字を確保、2事業が増益し業績を支える

### 【セグメント別業績】

(億円)

	営業収益	前期比(%)	営業利益	前期差
連結合計	63,925	+0.1	681	-349
GMS	22,556	-0.9	-426	-245
SM	24,749	+3.0	<b>361</b>	<b>+315</b>
ヘルス&ウェルネス	7,160	+10.4	<b>317</b>	<b>+90</b>
総合金融	3,612	+2.4	<b>261</b>	-135
ディベロッパー	2,367	-14.2	<b>239</b>	-197
サービス・専門店	4,747	-15.2	-147	-172
国際	3,162	-3.4	<b>32</b>	-26

・コロナ対策と並行し、従前より掲げていた諸改革を着実に推進

DS改革

ビッグ・エーとアコレの経営統合  
⇒首都圏における小型のDS事業の強化  
(2020年10月公表、2021年3月統合予定)

気候変動や健康への対応

CDP 気候変動対策「Aリスト」に選定  
⇒2年連続で最高評価を獲得

環境省主催「みんなで減らそう レジ袋チャレンジ」  
⇒最優秀賞 企業部門 受賞

植物性の原材料に置きかえた  
トップバリュ「Vegetive」  
シリーズ本格展開 (10月～)



コンビニエンスストア  
事業の新たなビジネス  
モデル

従来の「フランチャイズ契約」から「ミニストップパートナーシップ契約」へ  
⇒2021年9月～

職域内マイクロマーケットでの新たなサービス  
「MINISTOP POCKET」開始



## 2020年度 業績予想



・12/23に期初予想を上方修正

(億円)

	期初予想	修正予想	前期比・差
営業収益	80,000 ～84,000	<b>85,000</b>	▲1.2%
営業利益	500 ～1,000	<b>1,200</b> ～ <b>1,500</b>	▲955 ～▲655
経常利益	—	<b>1,000</b> ～ <b>1,200</b>	▲1,058 ～▲858
親会社株主に帰属する 当期純利益	—	—	—

# 参考資料



# 2020年11月末 連結貸借対照表



(億円)

資産の部 (主要項目のみ)	2020/2	2020/11	前期末差	負債・純資産の部 (主要項目のみ)	2020/2	2020/11	前期末差
現預金	12,219	9,989	▲2,230	支払手形・買掛金	10,684	10,071	▲612
受取手形・売掛金 (割賦売掛金含む)	16,267	17,097	+830	有利子負債 (金融子会社除く)	19,417	20,751	+1,333
たな卸資産	5,757	5,776	+18	有利子負債 (金融子会社)	10,649	10,927	+277
営業貸付金・銀行業 における貸出金	24,831	27,359	+2,528	銀行業における預金	37,843	39,101	+1,257
有形固定資産	30,943	30,728	▲215	負債合計	92,134	95,393	+3,258
投資その他資産	9,531	9,801	+270	株主資本	10,258	9,313	▲945
				純資産合計	18,492	17,485	▲1,006
資産合計	110,626	112,879	+2,252	負債・純資産合計	110,626	112,879	+2,252

# ダイエー再編関連企業の2020年度第3四半期実績



(億円)

事業	社名	営業収益		営業利益	
		実績	前期比	実績	前期差
GMS	イオンリテールストア ※関東、近畿、名古屋の 旧ダイエーGMS	810	-12.4%	-35	+12
SM	ダイエー	2,318	+4.3%	27	+46

※九州の旧ダイエーGMSを承継したイオンストア九州は、2020年9月、イオン九州、マックスバリュ九州と合併

# 配当予想



		2019年度 (実績)	2020年度
年間配当金	第2四半期末	普通配当 17円 記念配当 1円 計 18円	普通配当 (実績) 18円
	期末	普通配当 17円 記念配当 1円 計 18円	普通配当 (予想) 18円
	合計	普通配当 34円 記念配当 2円 計 36円	普通配当 (予想) 36円

- 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。
- この資料の著作権はイオン株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。